

2010年12月期・第2四半期決算 参考資料<連結>

(単位:千台・億円)

	前第2四半期累計実績	当第2四半期累計実績	期初通期見通し (2月12日発表)	通期見通し (今回発表)
	2009年1月～6月	2010年1月～6月	2010年1月～12月	2010年1月～12月
売上高	5,794 (△33.3%)	6,762 (16.7%)	12,500 (8.4%)	13,000 (12.7%)
国内売上	652 (△23.0%)	728 (11.7%)	1,350 (3.5%)	1,400 (7.4%)
海外売上	5,142 (△34.4%)	6,034 (17.3%)	11,150 (9.0%)	11,600 (13.4%)
営業利益	△338 (－)	350 (－)	100 (－)	450 (－)
<営業利益率>	－	<5.2%>	<0.8%>	<3.5%>
経常利益	△369 (－)	438 (－)	100 (－)	550 (－)
<経常利益率>	－	<6.5%>	<0.8%>	<4.2%>
四半期(当期)純利益	△747 (－)	238 (－)	0 (－)	250 (－)
<四半期(当期)純利益率>	－	<3.5%>	<0.0%>	<1.9%>
増減要因 (営業利益ベース)	(増益要因)	(増益要因)	(増益要因)	(増益要因)
	販管費の減少 308	売上増加による 荒利増加 293	売上増加による 荒利増加 317	売上増加による 荒利増加 514
	調達による 原価低減 35	調達による 原価低減 38	調達による 原価低減 110	調達による 原価低減 117
	研究開発費の減少 95	販管費の減少 203	販管費の減少 249	販管費の減少 349
	原材料価格 変動影響 54	減価償却費の減少 86	減価償却費の減少 104	減価償却費の減少 129
	減価償却費減少 3	国内生産回復に よる限界利益増加 95	商品構成変化等 (うち、国内増産影響 270)	商品構成変化等 63
	(減益要因)	研究開発費の 遅れによる減少 14	(減益要因)	国内工場 限界利益増加 260
	商品構成変化等 為替の影響 △417	(減益要因)	為替の影響 △115	(減益要因)
	売上減による 荒利減少 △448	原材料高騰影響 △19	原材料高騰影響 △110	研究開発費の増加 △27
		為替の影響 △1	研究開発費の増加 △39	為替の影響 △177
	商品構成変化等 △21		原材料高騰影響 △152	
為替レート (US\$)	96円	91円	88円	88円
(換算レート) (EUR)	127円	121円	128円	115円
設備投資	267	135	390	375
減価償却費	280	186	430	405
研究開発費	295	262	600	630
有利子負債残高	4,990	3,364	3,300	3,000
業績評価 (営業利益ベース)	2年連続の減収 2年連続の減益	3年ぶりの増収 3年ぶりの増益	3年ぶりの増収 3年ぶりの増益	3年ぶりの増収 3年ぶりの増益
二輪車販売台数合計	2,671	3,478	6,549	6,787
国内	58	51	110	98
海外	2,614	3,427	6,439	6,689
北米	75	35	56	56
欧州	170	135	262	241
アジア	2,182	3,045	5,689	5,942
その他	187	211	433	450

*カッコ内:前年同期比の増減率%(小数点第2位を四捨五入)

※上記の連結業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的と判断した見通しであり、実際の業績は、経営環境の変化、市場の需要動向、為替の変動等により、大きく異なる可能性があります。